



審査シート

ジェルリフォームコンテスト2024

エントリー番号

1-8-0125-0

タイトル

『寒冷地のGear Box』
～現在・防災・未来を4坪に収める～

応募部門：下記よりひとつを選んで●を入れてください

- 戸建て全面 マンション全面 リビングダイニング
 キッチン サニタリー 個室
 外まわり 玄関・ホール

基本情報

邸名	H/I様邸		築年数	24年	構造	木	造	2	階建
該当部分工事費	250	万円	総工事費	1,500	万円	建築確認申請の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
増築面積	—	m ²	減築面積	—	m ²	居住者	15歳未満	2人	15歳以上65歳未満
改装面積	174	m ²	※増築・減築の面積を除く		構成	65歳以上	—	人	ペット
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報）	<input checked="" type="checkbox"/> 施主の居宅		24	年居住	<input type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用				

所在地 都道府県 北海道 市町村 恵庭市 完成年月日 2023年10月30日

施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)

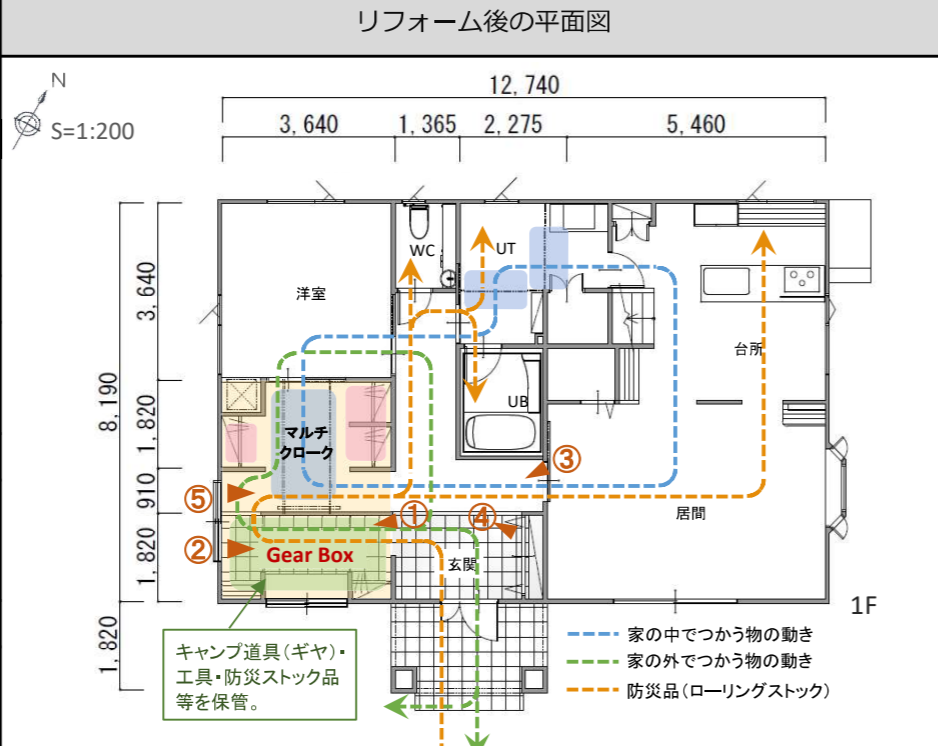
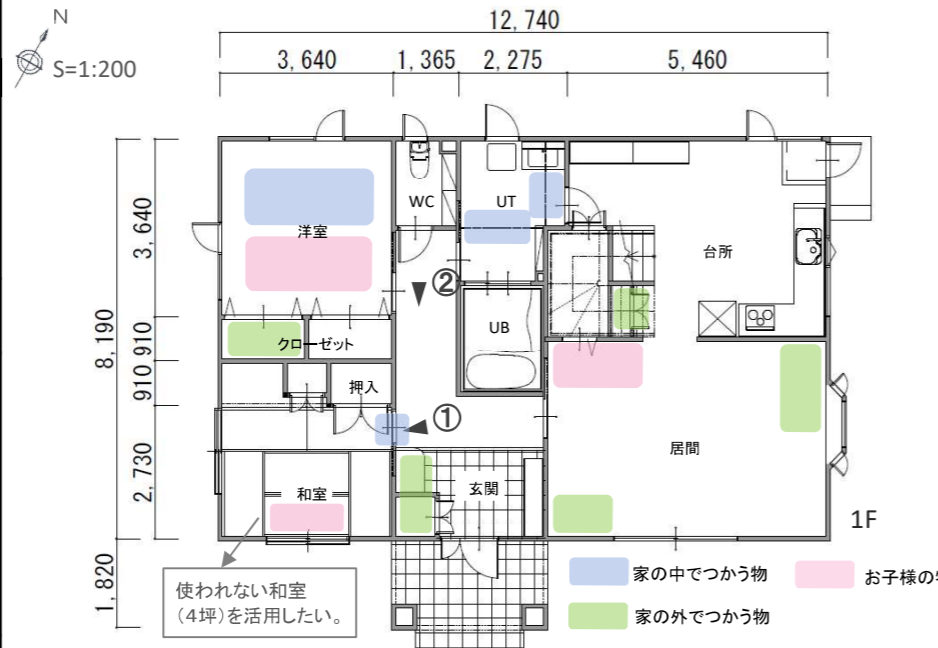
元は親と二世帯で住んでいた家。部屋数を上手く活用できず、荷物置き場や洗濯物干し場になっていて…今は子ども達の物や、趣味の物が多いけど、決まった収納場所がなく、その他にも日用品やストック品等、あちこちに分散してしまい片付けも大変。永く住む上で、快適に安全に暮らしたい。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)

設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など
暮らし方や趣味が多様となる中、物の整理の相談は多い。今後は災害等にも「備える収納」が必要と考え、玄関から繋がる収納+災害用品備蓄を叶える空間『Gear Box』を提案。将来起こりうる「もしも(介護・災害)」にも対応できる安心の住まいに。居室を減らしても家が持つ機能を増やし、将来の暮らしや空間の使い方提案に安心頂けた。

施主様ご感想：満足度など(140字程度で)

収納の提案で生活が劇的に変わって驚いた。動線がシンプルになった事が嬉しいし、趣味のDIYやキャンプ道具の手入れも、室内で完結できて楽しい。今の使い方に目が行きがちだけど、将来の事まで提案してもらえて安心した。いろんな用途に使える空間が玄関の横にあるっていいですね。



性能向上の特性(複数選択可)

- 劣化対策 耐震性 維持管理
 可変性 省エネ バリアフリー

選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

2×4工法のため、間取り変更によって耐震性能が下がらないよう耐力壁の必要壁量を考慮し、既存の壁量をなるべく維持した。

性能向上で、準拠・参考にした数値(性能表示の等級など)

(※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)

X方向必要壁量 既存1.37倍 → 改修後1.34倍

Y方向必要壁量 既存1.11倍 → 改修後1.20倍

リフォーム前の写真



- ・部屋数が多いが、和室をうまく活用できていない。
- ・玄関まわりに収納が足りず、片付けも大変。

リフォーム前またはリフォーム後の写真(どちらでも構いません)



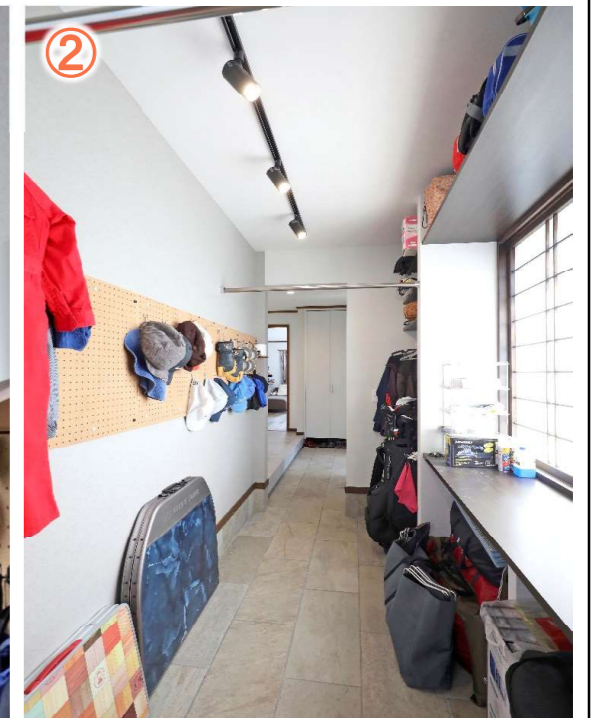
マルチクロークの役割

現在 ▶▶ 家の外でつかう
2人のお子様のアウトターや靴、おもちゃ等を収納。お子様の片付けトレーニングにもなる。



将来 ▶▶ 家の中でつかう
お子様独立後、1階での生活となった際、ご夫婦の収納に。衣類や寝具等がメインになる。

リフォーム後の写真(作品テーマ、工事内容が明確に分る内容の写真。写真4枚程度)



「外で使うけど玄関や車庫に置きたくない物・室内で使う物や衣類・ストック品の居場所が自然と決まりました。」と施主。



リフォーム後のDIYは有孔板の設置で見える楽しみを。既存障子は枠の塗装と強化和紙で再利用。外からの視線も気にならない。

現在 外用のおもちゃ・DIY・アウトドア 学校のカバン・本・仕事の道具 習い事の道具 部活の道具 お子様独立 夫婦の衣類・寝具 日用品や食料品の買置き 将来

← 防災用品の備蓄 ローリングストックで絶やさない →



介護が必要となったり1階の生活を主とする場合も、車椅子や介護用品を保管できる十分なスペース。

「自己確保(セルフビレイ)」ができる家づくりの提

備蓄できる空間がある事で「自己確保(セルフビレイ)」ができ、自らの安全を確保した上で防災用品によって自立できる。それにより、救助側の負担を減らすことで間接的な地域貢献にもつながる。

さらに、寒冷地では..

寒冷地の屋外物入は冬期間だと水・防災ストック・食品が凍るので、断熱区画内の保管庫は必須。